

- 北陸4県においては、農地1,123か所、農業用施設5,074か所が被災（3月13日時点）。
今春の作付けに向けて、農家の意向を踏まえつつ、農地や水路などを順次復旧するとともに、相談窓口等で営農再開を支援。
- 農林水産省は、七尾湾沿いの農地海岸や輪島市の農地地すべりを直轄代行で復旧するとともに、富山県氷見市等の被災した国営造成施設を直轄で復旧中。

1. 水田営農再開支援

○今春の作付けまでに農地や水路などの仮復旧・本復旧を実施し、
水田等での営農再開を支援

【仮復旧】



用水確保

災害復旧事業の査定前着工による応急工事



用水確保

小規模な被災箇所の復旧（一般単独災害復旧事業等）

【本復旧】



被災時

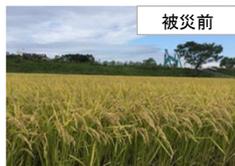
用水路が被災



用水確保

災害復旧事業で復旧

○今春の作付けまでに仮復旧・本復旧が困難な場合は、
大豆やそば等畑作物の導入により、営農再開を支援



被災前

水稻



被災後

転換作物（大豆）

○営農再開のための資材等の支援

- ・被災した農業機械の再取得や修繕、レンタル等に要する経費を支援
- ・被災した水田で、大豆やそば等に転換する場合の種子の購入や農作業委託等の経費の支援や、作付けした場合の水田活用の直接支払交付金等による支援

○国、県、JAが連携し、石川県内のJA等6か所に相談窓口を設置し
（農水省の職員（MAFF-SAT）が2名ずつ常駐）、営農再開に向けた
伴走支援を加速化。

2. 被災市町村への技術的支援

- 農水省等の職員（MAFF-SAT）派遣（1日約100人、延べ7,109人）
や、土地改良事業団体連合会等の協力により、被災状況の把握や
応急対策等を実施中。
- また、奥能登4市町（輪島市、珠洲市、能登町、穴水町）に
農水省の農業土木技術系の職員（MAFF-SAT）が2名ずつ常駐し、
被害状況の把握や復旧工法に関する技術的助言等の支援を実施中。



MAFF-SATによる支援状況

3. 白米千枚田の復旧・営農再開支援

今春の営農再開の意向がある棚田



今後の見通し

- 県は輪島市と工事受託契約を締結し、千枚田の復旧工事を実施予定。
- 損傷が軽微な棚田の一部は、愛耕会が営農再開の準備を進めており、昔ながらの工法で農地を復旧する予定。
- 農林水産省は、こうした取組を災害復旧事業等により全面的に支援。

スケジュール (見込み)	R6 3月	R6 4月	R6 5月	R6 6月	R6 7月	R6 8月	R6 9月	R6 10月	R6 11月	R6 12月	備考
○損傷が軽微な棚田		軽微な補修	田植え				収穫				
○損傷が大きい棚田 【農地・水路の復旧】	復旧工事										来春（R7年5月）の作付再開を目指す。

4. 直轄災害復旧事業及び直轄代行工事の実施

【富山県】

- 国営氷見地区（氷見市）で造成した農業用パイプライン等が大きく被災。
農水省は、今春の作付けに間に合わせるために、農水省等の職員（MAFF-SAT）を派遣
（延べ813人）し、被災したパイプライン（約142km）の充水試験を行いつつ、漏水箇所の
復旧を直轄災害復旧事業等で実施中。

富山県氷見市内の状況

【石川県】

- 今年度内に、農地海岸（七尾湾沿いの6海岸）
と農地地すべり（輪島市）の直轄代行事業を着工
予定。
令和6年4月、能登地域に、直轄代行事業等
を実施するための現地事務所を設置予定
（穴水町）。



パイプラインが被災

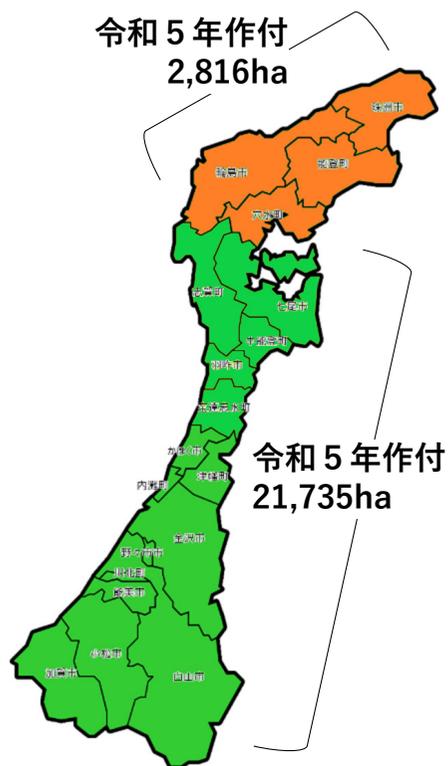


災害復旧事業で復旧

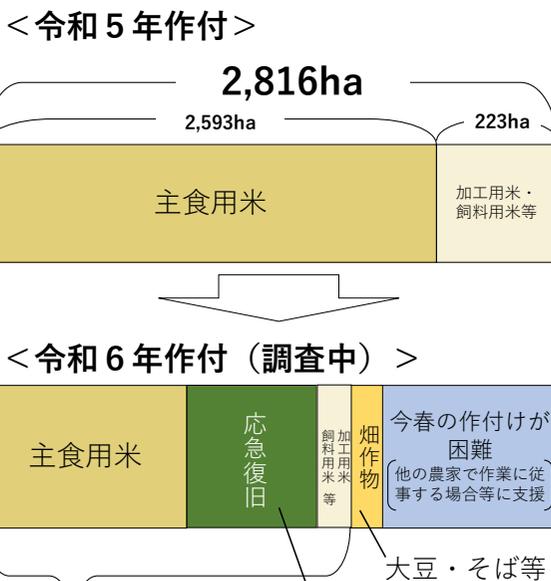
水田の営農再開について②（石川県内の水稲作付見込み）

- 石川県内の奥能登以外の地域では、応急復旧等によって概ね通常どおりの水稲作付けが行われる見込み。
- 奥能登地域では、①著しい被害のある水田では、今春の作付けが困難であるが（被災農家の生活支援のため他農家で作業に従事する場合等に支援）、②それ以外の水田では、通常どおりの作付けに加え、田植え時期の後ろ倒し（育苗時期を調整）により、6月上旬までに田植えができるよう応急復旧を加速化。

※ 作付けが可能な地域ではできる限りの営農再開が行われるよう、農地・農業用施設の復旧状況や担い手の意向等を確認しながら、地域ごとの田植え時期に合わせた苗の供給が計画的・段階的に進められるよう調整。

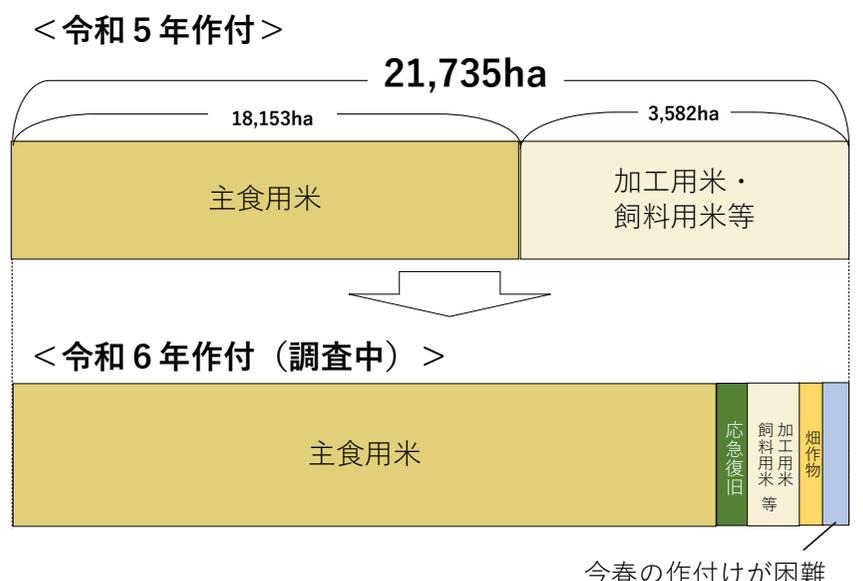


奥能登4市町水稲作付状況



応急復旧により水稲作付け可能となる水田
※R5年比6～7割の作付再開を想定（JAのとからの聞き取り）

奥能登以外の水稲作付状況



今春の作付けが困難
（他の農家で作業に従事する場合等に支援）

<栽培スケジュール（コシヒカリ）>

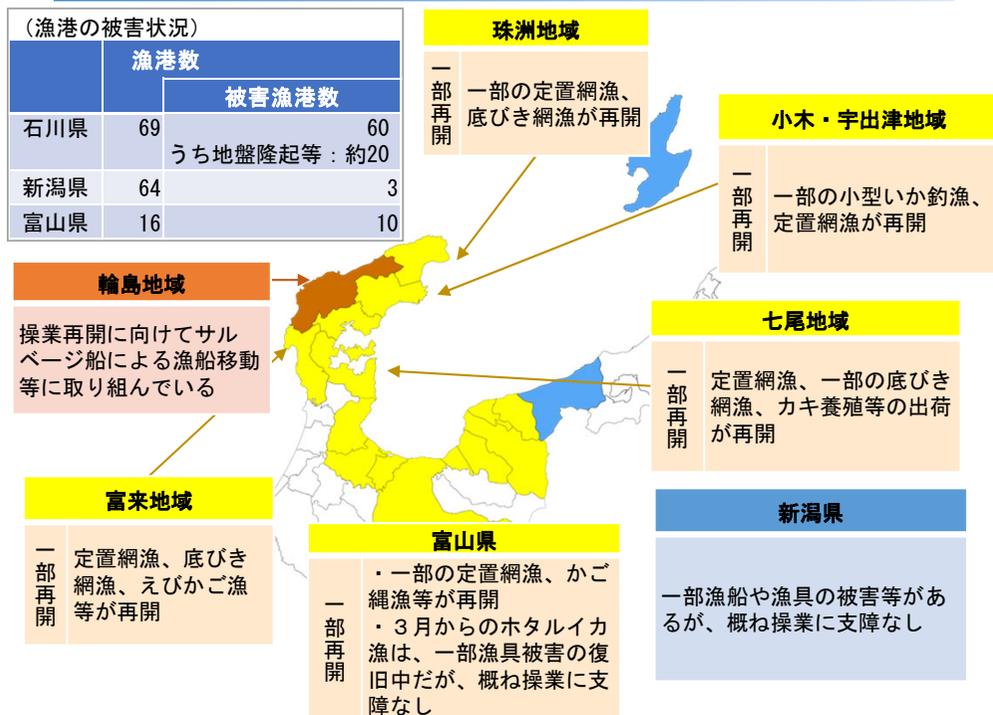
3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
播種準備・播種			育苗 1か月程度			田植え			田植晩限			出穂			収穫					

注：農研機構によるシミュレーション結果

育苗時期を調整し、苗を計画的・段階的に供給

- 被災3県の20漁港において応急工事を実施中（共同利用施設についても応急工事实施中）。
- 漁業被害のあった地域における操業状況としては、（1）石川県においては、①輪島地域では再開に向けた取組（漁船移動等）を実施中、②それ以外の地域では一部再開、（2）富山県においては一部再開、（3）新潟県では概ね支障なし。
（※ 休漁中の漁業者に対しては、漁場復旧のための活動を支援し、生活を下支え）
- 石川県における地盤隆起等甚大な被害を受けた漁港について、県全体の復旧方針を検討するための協議会を設置予定。
- 現地対応力を強化するため、金沢市に水産庁職員が常駐する拠点を開設（今後、奥能登への移転を予定）。

1. 漁港の応急復旧及び漁業再開の状況（3月18日時点）



2. 地盤隆起等甚大な被害を受けた漁港への対応



令和6年2月

被害調査
・地盤隆起等を考慮した復旧・復興対策の立案のベースとなる、県と連携した国による漁港等被害実態調査について、輪島市、珠洲市など6市町で実施中。

令和6年4月～

復旧方針の検討
・県全体の復旧方針を検討するため、国も協力しつつ、漁業者・漁業関係団体、市町等の行政機関、研究機関などで構成する協議会を3月25日に設置し、議論を開始する予定。また、漁港ごとの復旧方針の検討も並行して開始。

令和6年夏頃～

仮復旧

本復旧

3. 現地支援の状況

○サルベージ船を活用した漁船移動支援

・輪島港において、国土交通省や石川県と連携し、身動きが取れない漁船のサルベージ船による移動を支援。移動に向けた浚渫工事を2月16日から実施中。3月15日から、専門家による船底等の調査を実施しており、浚渫工事終了後、サルベージ船による漁船移動。

○休漁中の漁業者による漁場復旧の取組支援

・石川県において、漁業者の生活を支えながら漁場環境を回復するために漁業者が取り組む活動を支援するための活動組織を立ち上げ、七尾市、輪島市等で活動実施中。

○漁港等の直轄代行工事

・狼煙漁港及び鶴飼漁港海岸の直轄代行工事について、工事の着工に向けた調査や管理者との調整を実施中。

○現地支援拠点の設置

・漁協の各支所への訪問や説明会等を通じて、水産関係の支援策を漁業者等にきめ細かく周知するなど現地対応力を強化するため、本日（3月22日）、石川県金沢市に水産庁職員が常駐する拠点を開設（今後、奥能登への移転を予定）。

＜国・県が連携した支援＞

共同利用施設については、荷さばき所等の一部の施設で応急工事が進んでいるほか、3月末には石川県のほぼ全域で断水が解消されることを踏まえ、漁協が保有する製氷施設等の速やかな復旧を推進（復旧までの間の氷等の運送費は、石川県が支援）。



応急復旧した漁港での水揚げ